

## 謹賀新年



安川哲二の今月の一品 銀座神谷の十二ヶ月





この号発売時には、もう市場にないかも！  
**「安積蒸溜所 第一号 シングルモルトウイスキー」**  
 (福島県郡山市)



YAMAZAKURA  
 JAPANESE SINGLE  
 MALT WHISKY  
 安積 The First]  
 700ml 8000円(税抜)

▼笹の川酒造  
 TEL024-945-0261

本箱入り750ml一本594,000円。

12月1日現在ヤフオクでの「ニッカウキスキー竹鶴35年」の出品価格は、「竹鶴25年」の平均落札価格は94,899円。未開封箱入りなら120,000円。「竹鶴35年」の空瓶は74,800円。「竹鶴25年」空瓶で12,000円。いったいなにに使うの？

「サントリー シングルモルトウイスキー 山崎 シェリーカス 2013 700ml」は楽天で840,000円。「山崎18年」がヤフオクで70,000円程度。ちよつとでも安い出品価格ならどどん落札される。

世界のオークション現場はもつとすごい。「山崎 ファースト・シリ

ーズ50年物」が3000万円越え。秩父の「イチローズモルト」54本セットは香港オークションで約1億円だ。

倉庫の奥にヴィンテージジャパニーズウイスキー、眠っている人いませんか？ なんなら私に売ってくださーい！ そんなことも言いたくなるくらい、今、ジャパニーズウイスキー市場はクレイジーな状況。

きっかけは2000年ごろから始まった国際コンペの連続受賞にある。世界で評価が高まったおかげで、2008年(平成20年)に17億円だった輸出額が2018年(平成30年)

には約9倍の150億円になった。

ウイスキー人気の一役は、実は皆様、飲食業界の方々も買っている。

そう、ハイボール人気だ。どうです、「とりビール」が少なくなり「とりハイ」の注文増えてないですか？

2008年サントリーが角ハイボールを打ち出してから、CM人気とともに一億総ハイボール化している。飲み手にとっては、アルコール調整でき、個性の強い味わいを薄め、すっきり軽快なのど越しで、料理にも合うウイスキー消費方法がうれしいの

だけで、売り手の皆様、原価率考えると、ビールより俄然売りたい商材……ではないだろうか。

あらたなジャパニーズウイスキー

製造に着手し始めたメーカーが増えてきたなか注目は、福島県郡山市、笹の川酒造。清酒で知られる歴史ある蔵元だが、実は昔からウイスキー造りを手掛けてきた。かのイチローズモルトの原酒もここで眠っていたと書けば一目置きたくなるだろう。

通常商品は「ブレンデッドウイスキー 山桜」だが、12月に発売されたのが「安積蒸溜所 第一号 シングルモルトウイスキー」。ネットのみでたった30本限定発売。この号発売時にはすでに売り切れていると思うが、どこかで見かけたら、有無を言わさず入手必須だと思っ